

これからの時代の変化は？ そして、私たちの価値は？



2030年に向けて予測される 社会・大学・学生の変化、 求められる大学生協の変化

2. 学生を取り巻く環境、学生の生活や意識

- 「おしゃべり・語らいの場」、気軽に安心に集える場としての大学生協の認知を高めることが求められます。
- 学生を中心とした組合員の行動・チャレンジに応える大学生協・大学生協職員の役割が求められます。
- 学内構成員の協同を生み出す場づくり・仕組みづくりが求められます。
- 学生委員会の活動を「やってあげる」から「一緒にやろう」に変えていくことが求められます。
- 大学生協を通じて組合員が「輝ける」場面を作ることが求められます。

4. ICT・AI 技術

- オンライン時代におけるつながりの創造が求められます。
- つながり続けるためのオンラインとリアルとの融合が求められます。
- キャンパス外でも大学生協とつながれる仕組みづくりが求められます。
- “弱いつながり”を包含するつながりの多様化、参加の拡大につながる技術開発が求められます。
- 組合員の生活向上のために、ビッグデータやAIなど、今日的なデータサイエンスの活用が求められます。

1. 大学のあり方・大学の経営課題

- グローバルに進む学生の流動化と大学の個性化が加速します。
- 18歳人口の減少に伴い、生き残りをかけた大学間競争、大学再編が加速します。
- キャンパス内のコミュニティにとどまらず、地域や学外ともつながるコミュニティへと、大学コミュニティの再創造が求められます。
- コミュニティ形成を促進する協同組合の役割発揮（＝大学の魅力づくりにつながる大学生協の事業活動）が求められます。
- 大学・教職員の繁忙化によって、大学業務（正課・正課外）をサポートする生協の役割発揮の機会が増加します。

3. 大学での教育・学び

- アクティブラーニング・オンライン活用による教育方法、教材の変化（紙から電子への移行）が加速します。
- デバイス、コンテンツ、サポートを融合させた学習・教学支援の推進が求められます。
- 情報教育レベルの向上による生協のサポートコンテンツの見直し求められます。

5. 地球規模の社会的課題

- 気候変動、飢餓、貧困、平和、ジェンダー平等、人間らしい仕事等、SDGsが掲げる地球規模の諸課題への対応が求められます。
- 組織と事業が結びついた取り組みを進めることが求められます。
- これまでの各分野の取り組みをSDGsの目標に沿って位置づけることが求められます。
- 異文化交流や多様性の尊重などを進めながら、学生が成長し、人と地球に優しい持続可能な社会の担い手になっていくための役割が求められます。

2030年に向けて守りたい価値、創造したい価値

1. 守りたい価値

- 安全・安心で誠実な、信頼できる大学生協。
- 学生を温かく見守り、寄り添いながら学生生活を支える大学生協。
- 協同・協力・自立・参加を大切にする大学生協。
- 組合員自らがつながり合い、助け合うことで、組合員共通の生活上の課題を解決し、願いを実現できる大学生協。
- よりよい生活、平和、民主主義を希求する大学生協。

2. 創造したい価値

- いつでもどこでも、つながり合い、助け合い、励まし合い、学び合えることが実感できる大学生協。
- 事業活動を通じて、持続可能な社会の実現をリードする大学生協。
- 安心できるコミュニケーションの場で、一緒に、楽しみながら、事業と活動を創り上げている大学生協。
- キャンパスの内外で、他の協同組合や地域社会と連携しながら、学生の生活と成長をサポートしている、大学生協のセーフティネットとしての大学生協。
- 学生の「食」と「学び」を支えるトップランナーとして、組合員と大学から頼りにされ、社会への発信力のある大学生協。

価値を実現するために大切にする視点

1. 組合員の参加と協同で事業とコミュニケーションを革新する

- 事業と活動への組合員の参加を大切にする。
- 学生の良き理解者、大学構成員みんなの隣人として「一肌脱ぐ」プロフェッショナルな生協職員としてある。

2. 協同組合の価値と原則を中心に据える

- 大学生協として、大学コミュニティを支え、コミュニティを創造する。
- 組合員の参加による開かれた民主的管理により、自治と自立を実現する。

3. よりよい社会、よりよい大学づくりに貢献する

- 大学のブランドと価値を高める。
- 協同体験を通じて一人ひとりの組合員の成長に貢献する。
- 持続可能な社会の実現に貢献する。
- 協同組合や多様なステークホルダーとのパートナーシップで、よりよい社会づくりに貢献する。